

団体名	特定非営利活動法人 大山捕獲隊		
団体の所在地	篠山市	代表者名	西牧 正美

1. 事業名	住民参加型アライグマ排除事業
2. 実施期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
3. 主な実施場所	篠山市
4. 活動形態	普及啓発活動 実践活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>① 活動内容は、特定外来生物(アライグマ・ヌートリア)の捕獲を進めています。</p> <p>② 隊員は現在 14 人で、教師や住職や自営など、いろいろなメンバーが集まり、活動を行っています。当活動の主旨としては、各地域毎に「ご当地捕獲隊」の設立も目的としておりますので、口コミやうわさによっても拡散をしているところで、思わぬ方面からも声を掛けていただく場合もある現状です。</p> <p>③ 活動は、「住民参加型」を提唱しており、地域の「安心と安全を人任せにしない」を合言葉に、住民の皆さんと協働体制を組んで活動を行っています。</p>
6. 成果・反響・反省点等	<p>① アライグマの捕獲が、H26 年度末で 46 頭。このところの 4 年間で通算 133 頭の個体を捕獲しました。</p> <p>② 当初、いろいろな形(生活被害や農業被害)で起こっていた被害が、捕獲が進むことによって次第に減り、現在では地域の人達からは「見なくなったし、被害は無くなったね」との声を聞けるようになりました。</p> <p>③ 活動を通して判ったことがあります。それは、捕獲とは狩猟では無いので秘密に行うことでは無く、地域のみんが協働で進めないと成果が出ないと言うことです。それは「地域力」を育み、それを「捕獲庄」に変えることで発揮できることとなりますが、それには地域住民同士の「信頼関係」が一番の要となります。</p> <p>④ 今後の論点として、このような獣害については、被害に遭わなければ「他人事」なのです。しかし、被害にあっているかも知れないし、それが判っていないだけなのかも知れません。常に居宅周りや周囲の状況に目を向けて、獣影や痕跡(足跡や食痕)に気を配ることを周知して行く必要があると考えます。</p>
7. 成果物	<p>①月刊活動報告(4～翌3月) ②捕獲進め方(パンフレット)</p> <p>③排除に向けて(パンフレット) ④捕獲地域区域図</p>

8. 活動写真・説明



年に一度、活動関係者が一同に集い、フリートークにて全体会議を開催している。



近隣自治会の会長と当隊の理事による合同会議。



ワナの設置箇所等、猟友会と協賛で捕獲講習会を開く。